

精神科

1. スタッフ（平成23年4月1日現在）

科 長（教 授）	加藤 敏
副科長兼（教 授）	西嶋 康一
外来医長（教 授）	西嶋 康一
病棟医長（講 師）	菊地千一郎
医 員（学内教授）	阿部 隆明（兼務）
（学内准教授）	小林 聡幸
（講 師）	平井 伸英（海外留学中）
（学内講師）	塩田 勝利
	須田 史朗
	野口 正行（派遣中）
（助 教）	日野原 圭
	吉田 勝也（派遣中）
病院助教	宮田 善文
	倉持 素樹
	羅田 享
	倉田 和美
	山家 邦章（派遣中）
	利谷 健治（派遣中）
	山下 晃弘（派遣中）
	安田 学（派遣中）
	大西 康則（派遣中）
	大澤 卓郎（派遣中）
	竹内 光夫（派遣中）
	西田 慎吾（派遣中）
	近藤 州（派遣中）
	岡崎 翼（派遣中）
シニアレジデント	16名（9名派遣中）
臨床心理士	高桑 洋介
PSW	阿部 寛子

2. 診療科の特徴

< 認定施設 >

- ・日本神経精神学会
専門医制度における研修施設

< 認定医 >

- ・精神保健指定医 加藤 敏 他21名
- ・日本精神神経学会専門医制度
指導医 加藤 敏 他18名

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	638人
再来患者数	36,791人

紹介率 46.9%

2) 入院患者数（病名別）

入院患者総数 194人

F 0	症状性を含む器質性精神障害	7
	F 00 アルツハイマー病の痴呆	1
	F 01 血管性痴呆	1
	F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	5
F 1	精神作用物質による精神及び行動の障害	2
	F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	1
	覚せい剤による精神及び行動の障害	0
	上記以外の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1
F 2	精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害	38
F 3	気分（感情）障害	105
F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	19
F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	18
F 6	成人の人格及び行動の障害	0
F 7	精神遅滞	2
F 8	心理的発達障害	2
F 9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0
	てんかん（F 0に属さないもの）	1
	その他	0

（重複なし）

3) 手術症例病名別リスト・・・該当なし

4) 主な検査・処置・治療件数

無痙攣性電気けいれん療法	17
--------------	----

5) クリニカルインディケーター

- （1）治療成績
- （2）合併症例
- （3）死亡症例・死因・剖検数・剖検率

肝機能悪化に伴う高アンモニア血症、脱水（神経性無食欲症）	1
------------------------------	---

剖検数： 0 件（剖検率 0 %）

6) カンファランス症例（診療科内）

- ・入退院C C（年45回）
週に1回医局員全員が参加する症例検討会が実施されており、当科に入院した全ての患者について入院後と

退院前の少なくとも2回は症例検討会で診断や治療についての検討を行っている。

- ・ Dr -Ns CC
毎朝、入院中の全ての患者について申し送りを行っている。
- ・ モーニング CC
毎週のはじめに、新入院患者を中心とした治療方針等の検討を行っている。

7) その他

- ・ うつ病・平均在院日数 59.2日
- ・ 再手術率 データなし
- ・ 回避し得る再入院率 データなし
- ・ 術後感染等 データなし
- ・ 術後合併症発生率 データなし
- ・ 褥瘡発生率 データなし

4. 事業計画・来年の目標等

- ・ とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科との連携を進めていきたい。
- ・ 緩和医療において、精神科と他科との医療チームをつくり、より積極的に取り組んでいきたい。
- ・ 外来での精神科デイケアを立ち上げていきたい。